

県大会出場9連覇達成!!



▲第19回長野県消防ラッパ吹奏大会が塩尻市で開催され須坂市消防団は須高地区代表として出場し、大会出場9連覇を達成しました。

さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

さくら

2010 10
(平成22年)

須坂市消防団広報紙

消防団員の声



第2分団 (分団長会・会長) 垂澤 清志

「若人集まれ」

入団して十九年が過ぎようとしていきます。この間、火災による消火活動、又水災害による災害活動を何度か経験してきました。災害現場での迅速な対応、行動をするには、日頃の訓練が重要だと感じています。各種訓練が、早朝及び休日があり、仕事を持ちながらの消防団活動には、家族の理解、協力が不可欠ですが、大変な事ばかりではなく、団員同志の情報交換、地域との絆を深める場もあると思います。ぜひ、私達と伝統ある須坂市



第7分団 (3部) たかの 高野 佑介

「県大会に出場して」

二ヶ月を超える早朝練習。会社に勤めながらの早朝練習。毎日怒鳴られ、肉体的、精神的にも疲労はたまる一方でした。

優勝を期待されながらも惨敗した、市大会、須高大会。本番の県大会も決して満足は行かぬ結果でありませんでした。しかし、県大会の競技が終わった後、選手みんな抱き合い、自然と涙を流した瞬間、県大会選手として出場できて本当に良かったと心から思いました。最後に、訓練期間中及び大会時には、団本部、分団役員、各部長、副部長、団員、OB、消防署の方々、地域の方々、みんなに支えられやり遂げる事ができました。何より、こんな貴重な体験をさせてくれた須坂市消防団に感謝したいと思います。本当にありがとうございます。

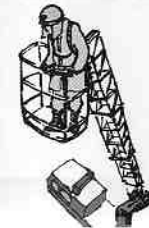


第7分団 (ラッパ長) まさ 牧 士郎

「県大会を終えて」

選手会長という大役を仰せつかり、今までの栄えある栄光の重圧に折れそうな事もありましたが、「優勝以外は有りえない」と言い聞かせながらこの長丁場、ある意味楽しみました。辛い訓練を耐え抜いたからこそ、優勝を勝ち取った時、すべてが報われ、選手役員がお互いを称えあい、優勝以上に皆で勝ち取った感動であると感じました。

これは経験した者にしか解らない、辛いながらも一致団結できたこの統一感と伝統、正に須坂の財産だと思います。これを是非とも次に活かせるよう伝えていきたいと思えます。 団本部、分団長会、ラッパ本部、音楽隊、そしてラッパ長会、各分団のラッパ手の皆様、本当にありがとうございます。



須坂市消防長 塚田 茂

「消防精神」

皆さん今日は、今年の梅雨は大雨が降り続き、梅雨が明けかと思ったら、猛暑の毎日で全国で熱中症の報道が相次ぎました。

消防本部の気象観測装置の今年の最高気温は八月五日の三十六、八度でした。熱中症と思われる救急搬送も例年になく多い状況です。

消防は、シーズンを問わず火災や地震等の災害発生の際があり、気の休まる時季はありませんが、消防団と消防本部は、お互いに補完しつつ市民の皆さんの安心・安全を守っていききたいと思えます。団員の皆さんも厳しい訓練の毎日と思えますが、いざ災害発生の際には迅速な行動をお願いいたします。

消防団の課題として、団員確保の問題がありますが、日々の訓練や災害活動を通して市民の皆さんに理解をしていただくことが大切だと思えます。



須坂市消防団ラッパ長 いわさき 岩崎 仁

頭の中は不安でいっぱい 関係の皆様のご協力に感謝

長期間の厳しい訓練、選手と役員何一つ不満も言わず頑張ってくれた。今までは違った若いラッパ員の育成、今年での県大会チームの中でこんなに苦労したチームはなかった。優勝というプレッシャーは半端じゃない。自信を持って指導するがなかなかうまく伝わらなかった。後は選手を信じ見守るしかなかった。誉めもしなければ、怒りもしなかった。

訓練最終日、良くも無く悪くも無い平凡な吹奏、頭の中は不安でいっぱいだった。いよいよ大会当日、本番の音を聞いて安心！

頑張ってくれた選手と役員、お疲れ様でした。そして、毎日激励に来ていただいた皆様はじめ、関係者様、ご家族のご理解、ご協力に改めて感謝いたします。

須坂市消防団☆団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか！きっとかけがえのない仲間ができるはずです。

【対象】 18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ 須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail: s-shobo@city.suzaka.nagano.jp

※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。

編集後記

編集委員長 竹前 誠 (第10分団長)

須坂市消防団は、いざという時の為にさまざまな活動、訓練を日々重ねております。火災がないのが一番ではありますが、全ては地域の安全・安心の為、また消防団員同志、世代は違っても、その交流は将来を含め地域の活性化につながります。 今後一人でも多くの方が仲間となり、頑張ってもらえばと願っております。

【編集委員】

- 副団長 成田 敏勝
- 副団長 田中 敏勝
- 副団長 岩崎 伸幸
- 副団長 豊田 伸幸
- 音楽隊長 渡邊 和則
- 第1分団長 垂澤 清志
- 第2分団長 大日方 寛
- 第3分団長 二ノ宮光次郎
- 第4分団長 吉池 淳一
- 第5分団長 小林 弘幸
- 第6分団長 塚田 武弘
- 第7分団長 中澤 敬
- 第8分団長 篠塚 真
- 第9分団長 竹前 誠
- 第10分団長 羽生田 英昭
- 第11分団長

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒監視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」そんな思いで活動している人間の集まりです。



▲総合防災訓練（8月29日）：須坂小学校グラウンドで行われ、救助・救出・救急訓練を行いました。



▲第52回長野県ポンプ操法大会（8月1日）：塩尻市で須高消防協会代表として第7分団が出場しました。



▲水防工法実技講習会（5月30日）：百々川緑地で土のう作りや月の輪工法など行いました。



▲視察研修（4月17日）：横浜市鶴見区消防団との意見交換会お互いの活動内容などを意見交換し、より良い消防団活動の為に活発な会となりました。

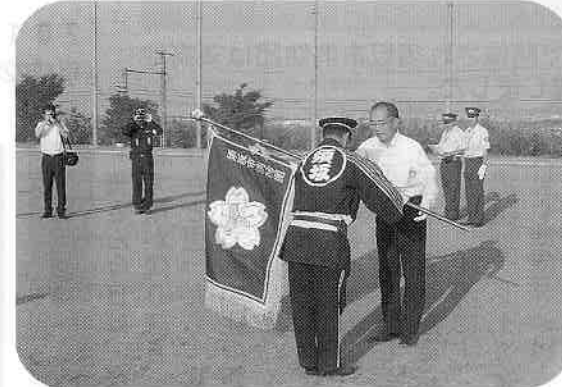


▲墨坂神社例大祭（9月23日）：墨坂神社で行われ、アトラクションで音楽隊が演奏しました。

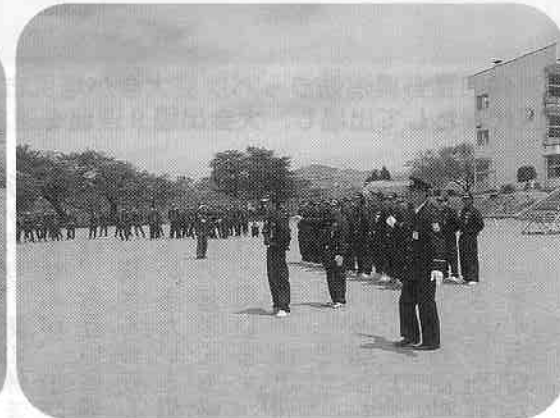


▲新潟県五泉市消防団視察受入（8月22日）新潟県五泉市消防団が須坂市に訪れ、消防団活動等について意見交換会を行いました。

写真で見る 消防団の活動 4月～9月



▲團旗授与式（7月27日）：新調頂いた須坂市消防団の團旗が、市長から団長に授与されました。



▲幹部研修会（5月16日）：森上小学校グラウンドで行われ、須高3市町村の消防団員幹部が集まり、規律訓練等を行いました。

消防団音楽隊

第26回 定期演奏会

とき 11月14日(日)

ところ メセナホール

開演 午後5時(4時開場) ※チャリティー



皆さまに楽しんでいただける演奏会を目指して、隊員一同がんばって訓練を重ねておりますので、大勢のご来場を心よりお待ちしております。



パーカッション
きかた ゆみ
坂田 祐美
(大日向町)

【演奏曲目】

- ・「アイダ」凱旋行進曲
- ・夢をかなえてドラえもん
- ・また君に恋してる
- ・日本愛唱歌集
- ・スーパーマリオブラザーズ
- ・龍馬伝～オープニングテーマ～ ほか

※第19回長野県消防ラッパ吹奏大会優勝の須坂市消防団ラッパ隊の演奏もご期待ください。

設置しましたか？ 住宅用火災警報器!!

～平成21年6月1日からすべての住宅において
設置が義務化となっています！～

火災から大切な命・
財産を守るため、地域
の安心・安全を守るため
住宅用火災警報器を
設置しましょう！



須坂市 住宅用火災警報器設置率
(推計値)
(9月30日現在)
70%

*悪質な訪問販売等にご注意ください

住宅用火災警報器に関してのお問合せは
須坂市消防本部 予防課
電話245-4200

小型積載車配備-10分団2部へ-



今年3月に第10分団2部(米子町)の小型積載車が更新配備されました。

より安全な活動を行う為、LEDランプが積載後に装備され、また装備品も取り出し易く安全性、快適性、環境適合した積載車です。